

切り花の取扱

こむかひ

茲に切り花と題を出しましたのは、何となく、
 範圍が狭い様な心持が致しまして、たい切り花と
 云ふと、一寸卓の上の、一輪挿にするとか、又花
 束にして、髪に飾るとか、胸に裝ふとか、云ふ時
 の花に思はれますが、私の只今御紹介申上やうと
 思ひますのは、此の如き種類の花の事も、二三種
 ございしますが、之に加へて活け花の水揚法を書き
 連ねて見たいと存じますのでございします。然し一
 寸お断を申上げて置きたいと存じますことは、
 今御紹介申上げますことは、悉く私が實驗致
 した譯でなく、中には随分、疑を抱いて居る事
 もございしますから、どうぞ皆様御ためし下さいま
 して、其結果を此紙上にて御披露願上げます。又
 此種類の事で御存じの事は、どうぞお福分けを願
 います。一體花と云ふものは、誰にでもよろこばれ

四〇

るもので、たとへ一輪の花でも、非常に目をよ
 ろこばせ、心を樂ませるものでございします。取分け
 子供を本位とせらるゝ家庭、幼稚園、の如き所に
 は、是非此花壇が、ほしいと存じます。大人です
 ら、此の位心を慰められるのですから、子供の爲
 には、どの位利益になるか知れません。殊に昨今
 の様な小春日和に、お庭に出ると、彼方にはコス
 モス、此方には、ダリヤ、互に艶を競ふて居りま
 す、其間を彼方此方に、駈け廻る幼児の愉快さ、
 見て居る大人迄、浮かれ出しさうになります。又
 子供は之によつて、虫と花との關係、等のお話を
 先生とか、お母様とか、伺ふことが出来て、誠
 に楽しい事でございませう。

そこで先一番に起る困難は、之を作る地所のな
 い事でございします。東京の様に建込で居る所では、
 到底云ふべくして、行はれ難い事でございします。
 市内の幼稚園も、たくさん拜見致しましたが、ど
 うも、充分に花壇を取る程の、遊園のおありにな

る所は、少いやうに見受けました、これは何とも致し方のない事でございませから、私はせめて此缺點を補ふ一端とも致したい考から、切り花を絶えず、室内に飾つて置きたいと存じまして、少しばかり、自分の爲に書きあつめたものを、皆様にもお目にかけて見ませ。どうぞ心の存する所をおくみとり下さいます、あつかましく所は、平にお救しを願ひ上げます。

初には、花束を花瓶に入る、場合、花束を花籠に入る、場合、花束を髪又は胸に装ふ場合、此の三種を、おなごさみに申上ります。

第一 花束を花活に入る、場合

切花は、どんなによく作つたものでも、一度之を水に入れたらば、餘程注意を致しませんと、いけません、私共の様に、始終外出勝の者は、どうかすると、日曜から日曜迄、水をかへてやりません。夏などはどうしても、水の腐敗が早くて、氣の付いた頃は、さしも美しかりし花は、見るかげ

もなく首うな垂れて、誠に氣の毒な様子をして居ります。之を防ぐには、水を腐らせぬ方法として花瓶の中に、極細かにした木炭か、又は毎日お使用になる食鹽とか、又薬舗にある樟腦を入れて置けばよいのでございます。さうすれば花は久しく、見事で居ります。

第二、切花を花籠に入る、場合

籠等に切花を入れる時には、其籠の中に新しい砂を入れ、其砂の上に蘚苔をならべ、其中に切花をさしこむのでございます。さうして砂には毎度氣をつけて、水をかけなければなりません。砂は又時々新しいのを取替るのも良いさうでございませ、

第三、胸に装ふ場合

薔薇とか菊とか云ふものを、胸や髪にお飾りになる方がありますが、惜しい事には、少し時がたつと、べたべたに萎び、見るもいやな有様になる事がございます。今此天然の美しい花を、永く、

しほれぬ様にするには、どう致したらよろしいかと申しますと、菊でも薔薇でも、まだ充分に咲かない内に莖から切り（餘り長くなく）之を暫く純良酒精の中につけます。先づ十分位で澤山でございませぬ。後之を取り出して、今度は、溶解したアラビヤゴムの中にひたし、それをよく乾かせばよいのでございます。此仕方を以てこしらへました花束は、二十日間位卓の上で保存する事が出来ると申しますが、如何なものでせうか。私はまだ、たぬめした事がございませぬ、餘り手數も、かゝらぬ事ですから、皆様お暇がありましたら、おたぬめし遊ばせ。

以上は、ほんの、おなぐさみの様なことばかり申上りましたが、是から活花水揚法のことを少し申上げませう。一寸次に、目次を掲げて置きます。

- 一、眞行草三通りの養ひ法
- 二、最も衰へ易き草木にて、之が水揚に使用する

る薬品の如きも數多を要せず。極めて簡易に最も結果よき法

- | | | | | | | | | | | | |
|---------|--------|---------|---------|-------|-------|--------|--------|--------------|---------|---------|---------|
| (21) | (19) | (17) | (15) | (14) | (12) | (10) | (8) | (7) | (5) | (3) | (1) |
| 秋海棠水揚法 | 水引草水揚法 | 花菖蒲水揚法 | 孔雀草水揚法 | ぼたん | 水葵水揚法 | 千日紅水揚法 | 時鳥草水揚法 | 朝顔客待ちの傳(極秘傳) | 鳥かぶと水揚法 | 鶏頭水揚法 | 茎ぶきの水揚法 |
| (22) | (20) | (18) | (16) | (13) | (11) | (9) | (6) | (4) | (2) | | |
| だんどく水揚法 | 萩水揚法 | 照もみち水揚法 | 雨後の杜若の傳 | 芍薬水揚法 | 魚柳水揚法 | 桔梗水揚法 | 夏菊水揚法 | 朝顔水揚法 | 吾妻菊水揚法 | 葉げい頭水揚法 | |

まだ二三十種ございませぬが、先これ丈を先きに申上げて、夫から又順々に御紹介致しませう。